

2022年度第3四半期 決算説明会

2023年2月2日
株式会社村田製作所



第3四半期実績

- 売上高は、直前四半期比▲13.4%の4,190億円。樹脂多層基板や高周波モジュール、コネクティビティモジュールがスマートフォン向けで減少したほか、コンデンサがコンピュータや通信向けで減少した。また、リチウムイオン二次電池がパワーツール向けで減少したこともあり、全体として減収となった。
- 営業利益は、直前四半期比▲27.3%の773億円。生産高の減少による操業度損が主な減益要因。
- モビリティ向けは堅調に推移したが、スマートフォンやPCなどの民生市場向けを中心に、想定以上の需要減があったことに加えて、パワーツール市場の減速もあり、業績予想比で売上高▲11.4%の未達。

業績予想

9ヶ月累計実績及び第4四半期見通しを踏まえ、予想を修正。

売上・損益

- 売上高は、前回予想比▲7.7%の減収を計画。コンポーネント、デバイス・モジュールともに通信やコンピュータ向けで売上の減少を見込む。
- 営業利益は、前回予想比▲22.4%の減益を計画。生産高の減少による操業度損を見込む。

設備投資

- 一部設備部品の長納期化の継続により、前回予想比▲100億円の2,000億円に修正。

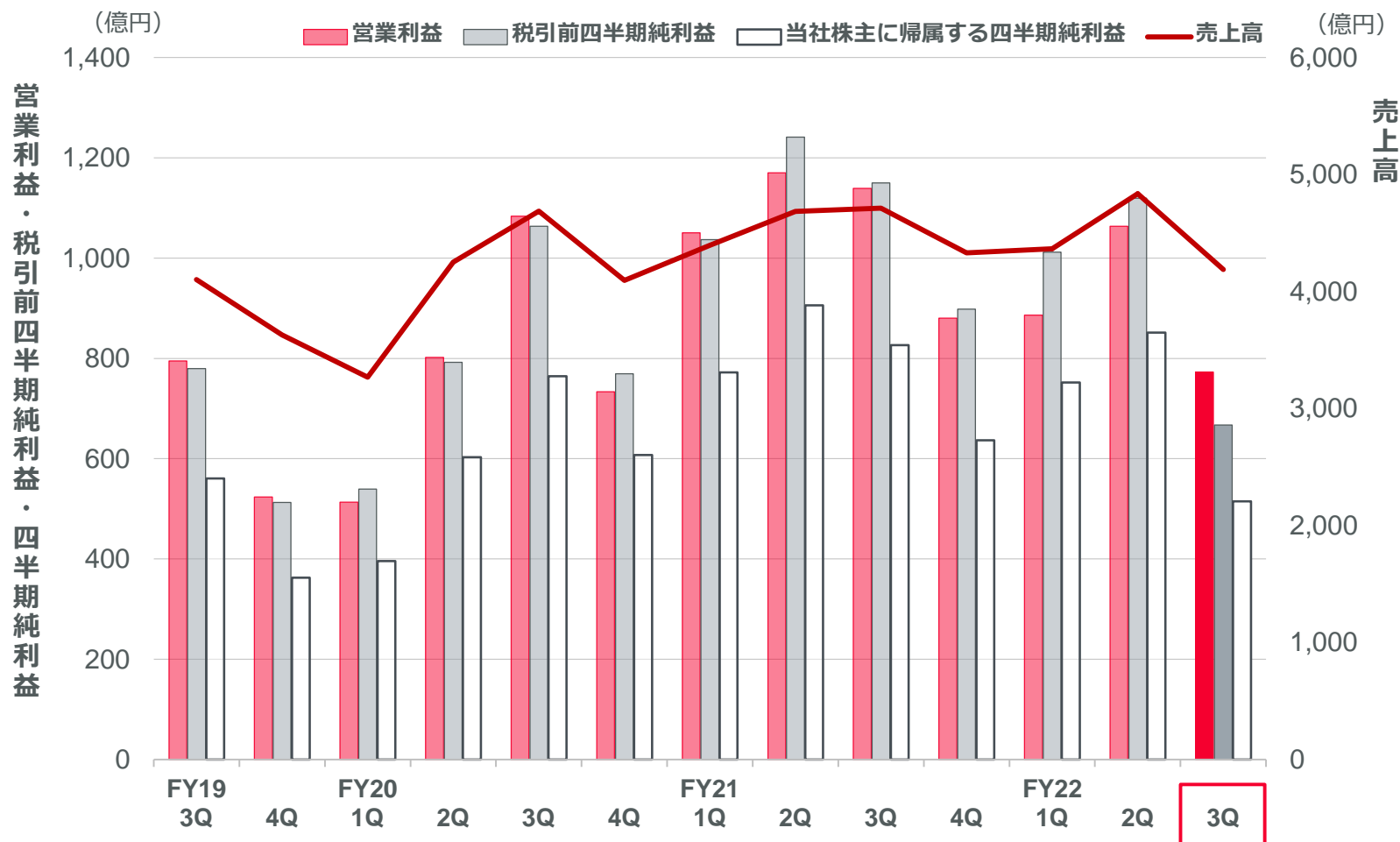
株主還元

- 年間配当金は1株あたり150円の予想を据え置き。

2022年度第3四半期 業績概要

2022年10月～2022年12月
第3四半期連結会計期間

業績推移（四半期）



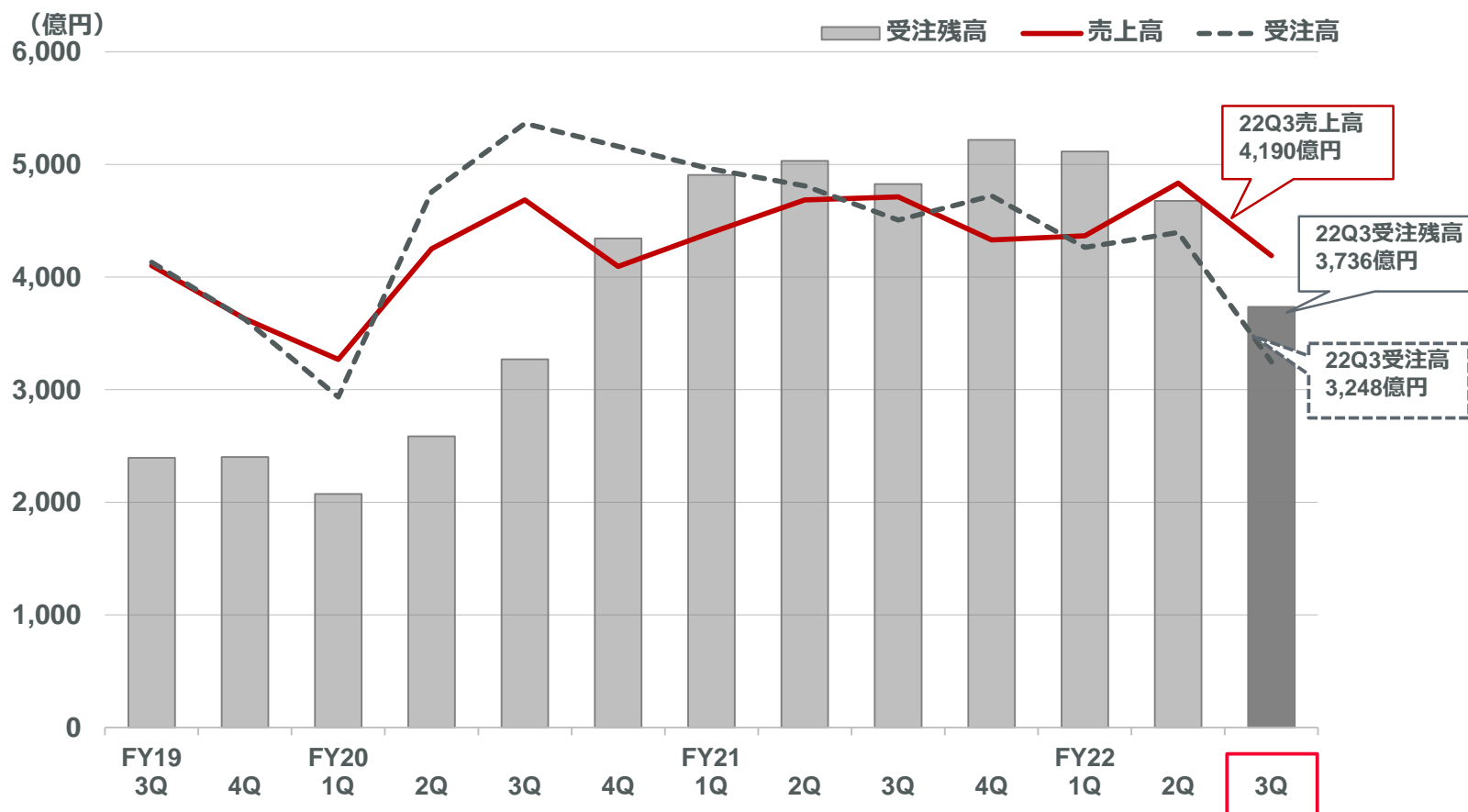
業績概況

	2021年度 第3四半期		2022年度 第2四半期		2022年度 第3四半期		前年同期比 22Q3/21Q3		直前四半期比 22Q3/22Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,714	100.0	4,836	100.0	4,190	100.0	▲524	▲11.1	▲646	▲13.4
営業利益	1,139	24.2	1,064	22.0	773	18.4	▲366	▲32.2	▲291	▲27.3
税引前当期純利益	1,150	24.4	1,120	23.2	667	15.9	▲483	▲42.0	▲453	▲40.4
当社株主に帰属する 当期純利益	826	17.5	852	17.6	515	12.3	▲312	▲37.7	▲337	▲39.6
為替 (円/USD)	113.71		138.38		141.64					

- 売上高は、直前四半期比で、モビリティ向けでコンデンサが増加したが、スマートフォン向けで樹脂多層基板や高周波モジュール、コネクティビティモジュールが減少したほか、パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が減少したことにより、全体として減収となった。
- 営業利益は、直前四半期比で、生産高の減少による操業度損の発生や一時費用(70億円)の計上により、減益となった。

売上・受注・注残推移（四半期）

- ・ 直前四半期比で受注高は減少、BBレシオが1を下回る状況が継続。
- ・ 受注残の消化が進んだことに加え、急激な為替変動も影響し、期末受注残高は減少。
- ・ 第4四半期は、季節性もあり受注は減少する見込み。



(注) 受注高=売上高+当四半期受注残高-前四半期受注残高

受注残高は、各四半期末日時点の為替レートに基づき算出しています。 ※対米ドル為替レート 22年9月末：144.81円、同12月末：132.70円

事業別セグメント売上高

	2021年度 第3四半期		2022年度 第2四半期		2022年度 第3四半期		前年同期比 22Q3/21Q3		直前四半期比 22Q3/22Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	2,014	42.7	1,944	40.2	1,827	43.6	▲187	▲9.3	▲117	▲6.0
インダクタ・EMIフィルタ	511	10.8	483	10.0	434	10.3	▲77	▲15.1	▲49	▲10.2
高周波・通信	1,402	29.7	1,476	30.5	1,144	27.3	▲258	▲18.4	▲332	▲22.5
エネルギー・パワー	488	10.4	650	13.4	539	12.9	+51	+10.4	▲111	▲17.0
機能デバイス	263	5.6	249	5.2	221	5.3	▲42	▲16.0	▲28	▲11.1
その他	36	0.8	33	0.7	25	0.6	▲11	▲31.4	▲9	▲26.5
売上高計	4,714	100.0	4,836	100.0	4,190	100.0	▲524	▲11.1	▲646	▲13.4

事業別セグメント売上高概況

[2022年度第2四半期→2022年度第3四半期]

コンデンサ (直前四半期比▲6.0%)	▲積層セラミックコンデンサ (MLCC) モビリティ向けで増加したが、コンピュータや通信向けで減少
インダクタ・EMIフィルタ (直前四半期比▲10.2%)	▲インダクタ・EMI除去フィルタ EMI除去フィルタがモビリティ向けで増加したが、インダクタがスマートフォンやコンピュータ向けで減少
高周波・通信 (直前四半期比▲22.5%)	▲樹脂多層基板・高周波モジュール・コネクティビティモジュール スマートフォン向けで減少
エネルギー・パワー (直前四半期比▲17.0%)	▲リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで減少
機能デバイス (直前四半期比▲11.1%)	▲センサ モビリティ向けで増加したが、コンピュータ向けで減少

用途別売上高

	2021年度 第3四半期		2022年度 第2四半期		2022年度 第3四半期		前年同期比 22Q3/21Q3		直前四半期比 22Q3/22Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	2,104	44.6	2,050	42.4	1,626	38.8	▲478	▲22.7	▲425	▲20.7
モビリティ	803	17.0	943	19.5	1,063	25.4	+260	+32.4	+120	+12.7
コンピュータ	751	16.0	652	13.5	507	12.1	▲244	▲32.4	▲145	▲22.2
家電	471	10.0	619	12.8	456	10.9	▲15	▲3.2	▲164	▲26.4
産業・その他	586	12.4	570	11.8	538	12.8	▲48	▲8.1	▲33	▲5.7
売上高計	4,714	100.0	4,836	100.0	4,190	100.0	▲524	▲11.1	▲646	▲13.4

(注) 当社推計値に基づいております。

用途別売上高概況 [2022年度第2四半期→2022年度第3四半期]

通信 (直前四半期比▲20.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ スマートフォン向けで樹脂多層基板や高周波モジュール、コネクティブティモジュールが減少 ▲ 基地局向けでコンデンサが減少
モビリティ (直前四半期比+12.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 半導体需給の緩和に伴う自動車向け部品需要の増加により、コンデンサが増加
コンピュータ (直前四半期比▲22.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ PC向けでコンデンサが減少 ▲ 周辺機器向けでコンデンサや機能デバイスが減少
家電 (直前四半期比▲26.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が減少 ▲ ゲーム機向けでリチウムイオン二次電池やコンデンサが減少
産業・その他 (直前四半期比▲5.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ ヘルスケアや産業機器向けで減少

(注) 当社推計値に基づいております。

セグメント情報

		2021年度 9カ月累計		2022年度 9カ月累計		増減	
		(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンポーネント	売上高	7,567	100.0	7,258	100.0	▲309	▲4.1
	営業利益	2,742	36.2	2,347	32.3	▲395	▲14.4
デバイス・ モジュール	売上高	6,233	100.0	6,124	100.0	▲108	▲1.7
	営業利益	633	10.2	391	6.4	▲242	▲38.2
その他	売上高	528	100.0	548	100.0	+21	+3.9
	営業利益	▲15	▲2.8	▲15	▲2.8	▲0	-
消去	売上高	▲532	-	▲538	-	▲6	-
連結	売上高	13,795	100.0	13,392	100.0	▲403	▲2.9
	営業利益	3,360	24.4	2,723	20.3	▲638	▲19.0

- コンポーネント 円安による増益効果はあったものの、生産高の減少による操業度損の発生により減益。
- デバイス・モジュール 表面波フィルタや機能デバイスの売上減少により、収益性が悪化したため減益。

※今年度より、表示する利益区分を「事業利益」から「営業利益」に変更しております。

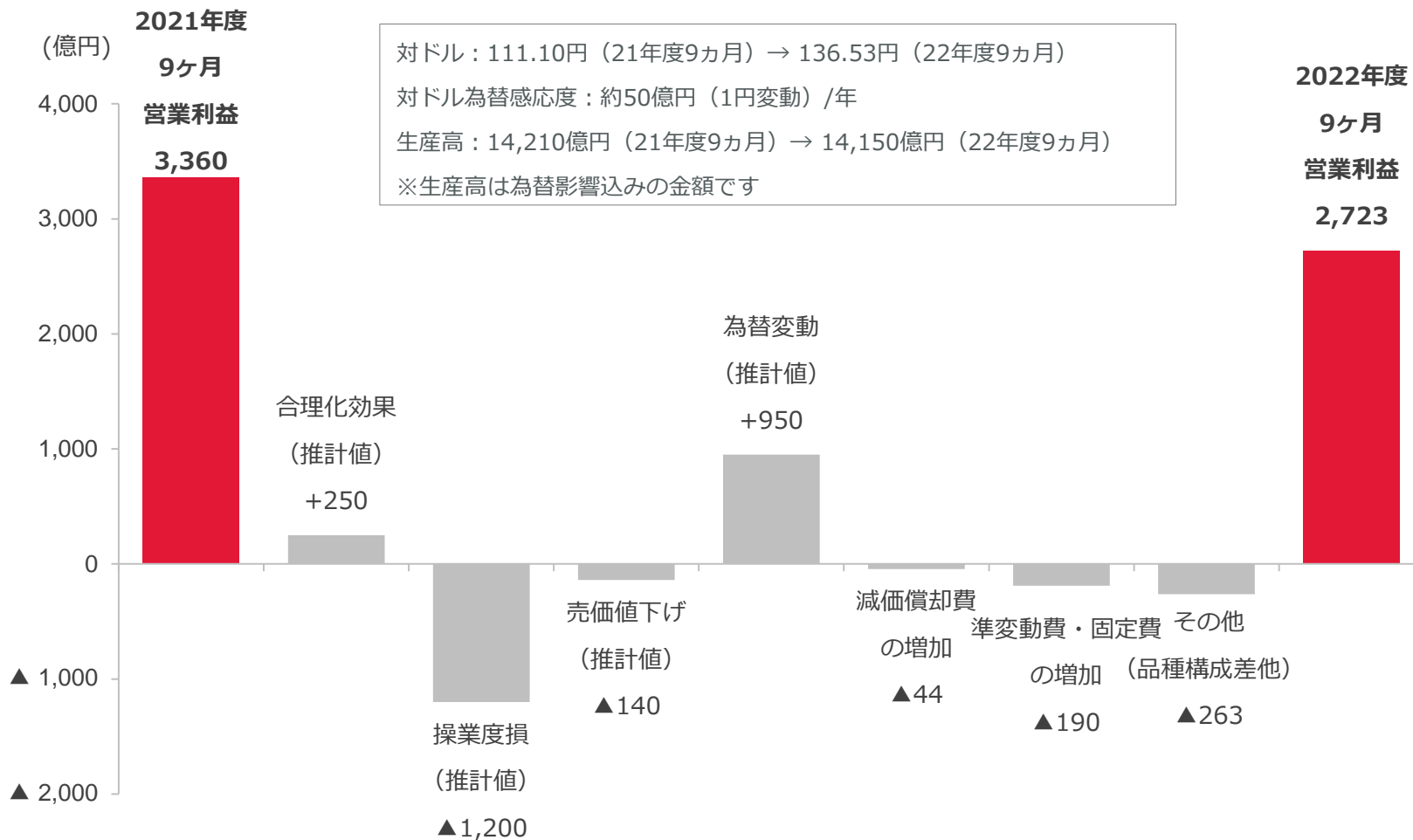
利益変動要因 [2022年度第2四半期→2022年度第3四半期]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※準変動費・固定費の増減には、2022年度 第3四半期に発生した一時費用の影響が含まれております。

利益変動要因 [2021年度9カ月累計→2022年度9カ月累計]



※操作度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※準変動費・固定費の増減には、2022年度 第3四半期に発生した一時費用の影響が含まれております。

キャッシュフロー

	2021年度 9カ月累計 (億円)	2022年度 9カ月累計 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	3,117	1,830	▲1,287
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,164	▲ 1,024	+140
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 774	▲ 1,734	▲960
為替変動による影響	30	116	+86
現金及び同等物残高	5,287	4,309	▲978
フリーキャッシュフロー	1,954	807	▲1,147
固定資産の取得	▲ 1,152	▲ 1,430	▲279
減価償却費	1,156	1,200	+44

- 前年同期比で棚卸資産が増加したことや減益となったことから、営業活動によるキャッシュフローは減少。
- 自己株式の取得(800億円)により、財務活動によるキャッシュフローも減少。

2022年度 業績予想

(2022年4月～2023年3月)



2022年度 業績予想

	前回予想(22年10月)		2022年度 通期予想 (億円)	今回予想(23年2月)				2022年度 通期予想		前回予想比 増減	
	上期実績 (億円)	下期予想 (億円)		上期実績 (億円)	(%)	下期予想 (億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	9,202	8,998	18,200	9,202	100.0	7,598	100.0	16,800	100.0	▲ 1,400	▲ 7.7
営業利益	1,950	1,850	3,800	1,950	21.2	1,000	13.2	2,950	17.6	▲ 850	▲ 22.4
税引前当期純利益	2,132	1,858	3,990	2,132	23.2	898	11.8	3,030	18.0	▲ 960	▲ 24.1
当社株主に帰属する 当期純利益	1,604	1,366	2,970	1,604	17.4	656	8.6	2,260	13.5	▲ 710	▲ 23.9
ROIC(税引前)	18.7							14.7			
為替 (円/USD)	136.99			133.98		134.32		134.15			

- ・ スマートフォンやPCの市場低迷と在庫調整の長期化などにより、通信及びコンピュータ向けの部品需要が減少し、前回予想比で売上高を下方修正。
- ・ 生産高減少に伴う操業度損の発生により、前回予想比で営業利益も下方修正。
- ・ 第4四半期の前提為替レートを、前回予想の1ドル=140円から127円に変更。

事業環境認識

	10月時点の業績予想前提	2月時点の現状認識
売上	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやPCの販売不振によるセット台数の大幅な減少 ・ミドル・ローエンドスマートフォン向けの需要回復は次期以降を見込む ・為替レートが円安に進行 ・ハイエンドスマートフォンは底堅く推移 ・自動車の生産制約が想定より長期化、顧客によるBCP在庫の取り崩しは無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイエンドスマートフォン及び中華圏スマートフォンのセット台数減少 ・ローエンドスマートフォンのセット台数増加等のモデルミックスの変化 ・PC販売不振と周辺機器市場の需要停滞 ・為替相場の不安定な動きが継続 ・半導体需給の緩和による自動車向け部品需要の緩やかな回復 ・顧客のBCP部品在庫の保有継続
生産	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減を受けて、生産高を引き下げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生市場向けの需要減を踏まえた、生産高のさらなる引き下げ
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・材料価格やエネルギー価格の上昇継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料価格やエネルギー価格の高止まり

部品需要予測

	2021年度 実績	2022年度 前回予想(10月)	2022年度 今回予想(2月)	増減	
				前年度比	前回予想比
スマートフォン	13.6 億台	10.9 億台	10.7 億台	▲21%	▲1%
内 5G端末	5.6 億台	6.1 億台	5.9 億台	+5%	▲3%
PC	5.0 億台	4.4 億台	4.2 億台	▲16%	▲3%
自動車	7,600 万台	8,200 万台	8,200 万台	+8%	横這い
内 xEV	1,600 万台	2,400 万台	2,400 万台	1.5倍	横這い

(注) 自動車は生産台数ベース

- スマートフォン** グローバルで進行するインフレや中国ロックダウン等の影響により、主にハイエンド端末は減少するものの、ローエンド端末は増加を見込むことから、全体の台数見通しとしては、前回予想から微減。
- PC** 市況感の悪化を背景に、主にハイエンドタブレットPCの台数見通しを前回予想から下方修正。
- 自動車** 地域別では台数想定に増減は生じているものの、全体の台数見通しとしては、前回予想を据え置き。

事業別セグメント売上予想

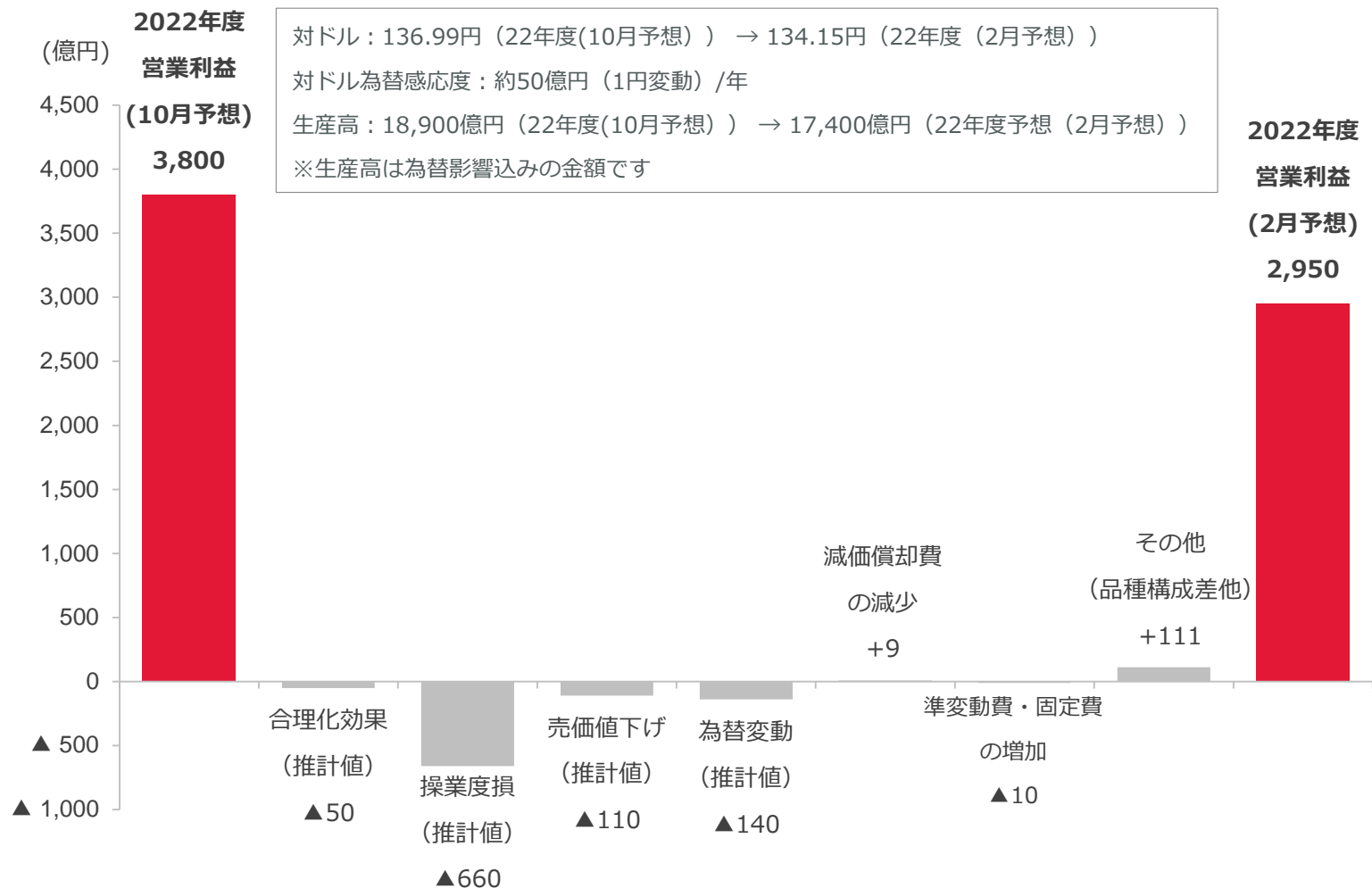
	前回予想(10月)		今回予想(2月)	
	2022年度 通期予想 (前年度比)	2022年度 通期予想 (前年度比)	2022年度 通期予想 (前年度比)	2022年度 第4四半期予想 (前四半期比)
コンデンサ	横這い	▲6%程度	▲6%程度	▲11%程度
インダクタ・EMIフィルタ	▲3%程度	▲10%程度	▲10%程度	▲15%程度
コンポーネント	▲1%程度	▲7%程度	▲7%程度	▲12%程度
高周波・通信	▲8%程度	▲16%程度	▲16%程度	▲34%程度
エネルギー・パワー	+36%程度	+18%程度	+18%程度	▲20%程度
機能デバイス	▲5%程度	▲14%程度	▲14%程度	▲12%程度
デバイス・モジュール	+2%程度	▲8%程度	▲8%程度	▲27%程度
売上高合計	横這い	▲7%	▲7%	▲19%

用途別売上予想

	前回予想(10月)	今回予想(2月)	
	2022年度 通期予想 (前年度比)	2022年度 通期予想 (前年度比)	2022年度 第4四半期予想 (前四半期比)
通信	▲8%程度	▲16%程度	▲25%程度
モビリティ	+20%程度	+16%程度	▲9%程度
コンピュータ	▲11%程度	▲24%程度	▲17%程度
家電	+24%程度	+7%程度	▲19%程度
産業・その他	▲4%程度	▲4%程度	▲20%程度
売上高計	横這い	▲7%	▲19%

(注) 当社推計値に基づいております。

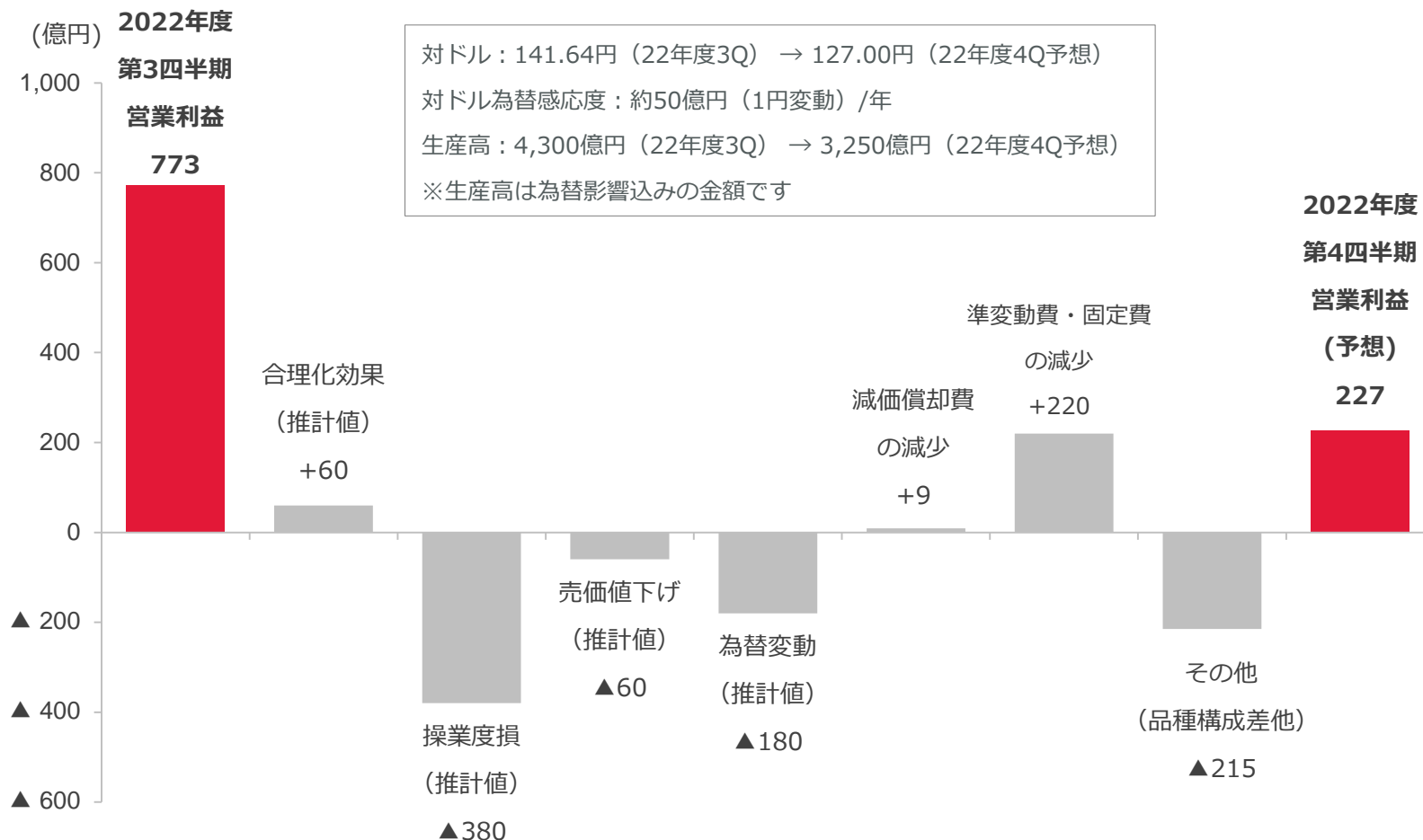
利益変動要因 [2022年度通期予想(10月)→2022年度通期予想(2月)]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※準変動費・固定費の増減には、2022年度 第3四半期に発生した一時費用の影響が含まれております。

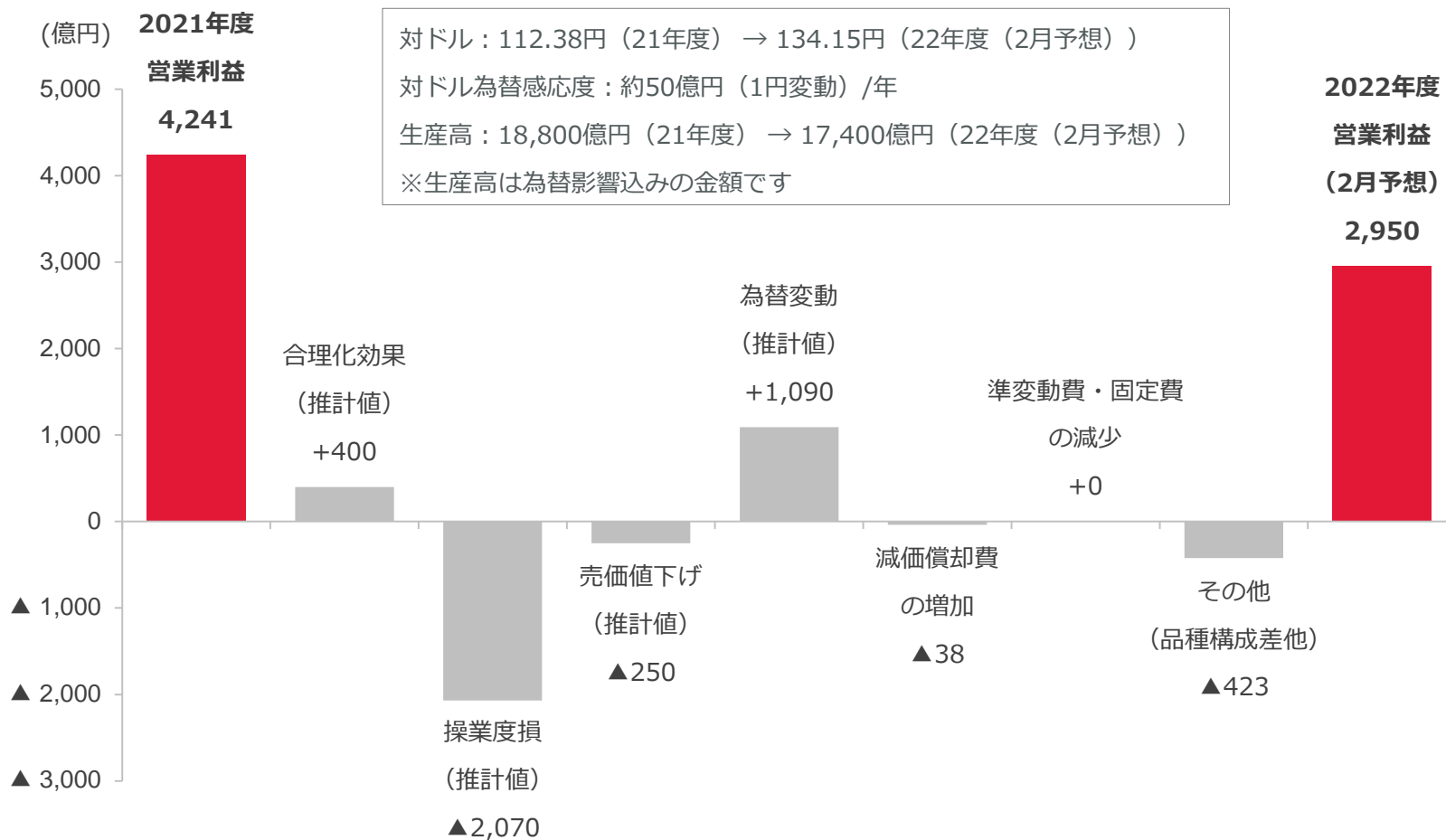
利益変動要因 [2022年度第3四半期→2022年度第4四半期予想]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※準変動費・固定費の増減には、2022年度 第3四半期に発生した一時費用の影響が含まれております。

利益変動要因 [2021年度通期実績→2022年度通期予想(2月)]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※準変動費・固定費の増減には、2022年度 第3四半期に発生した一時費用の影響が含まれております。

業績予想の前提

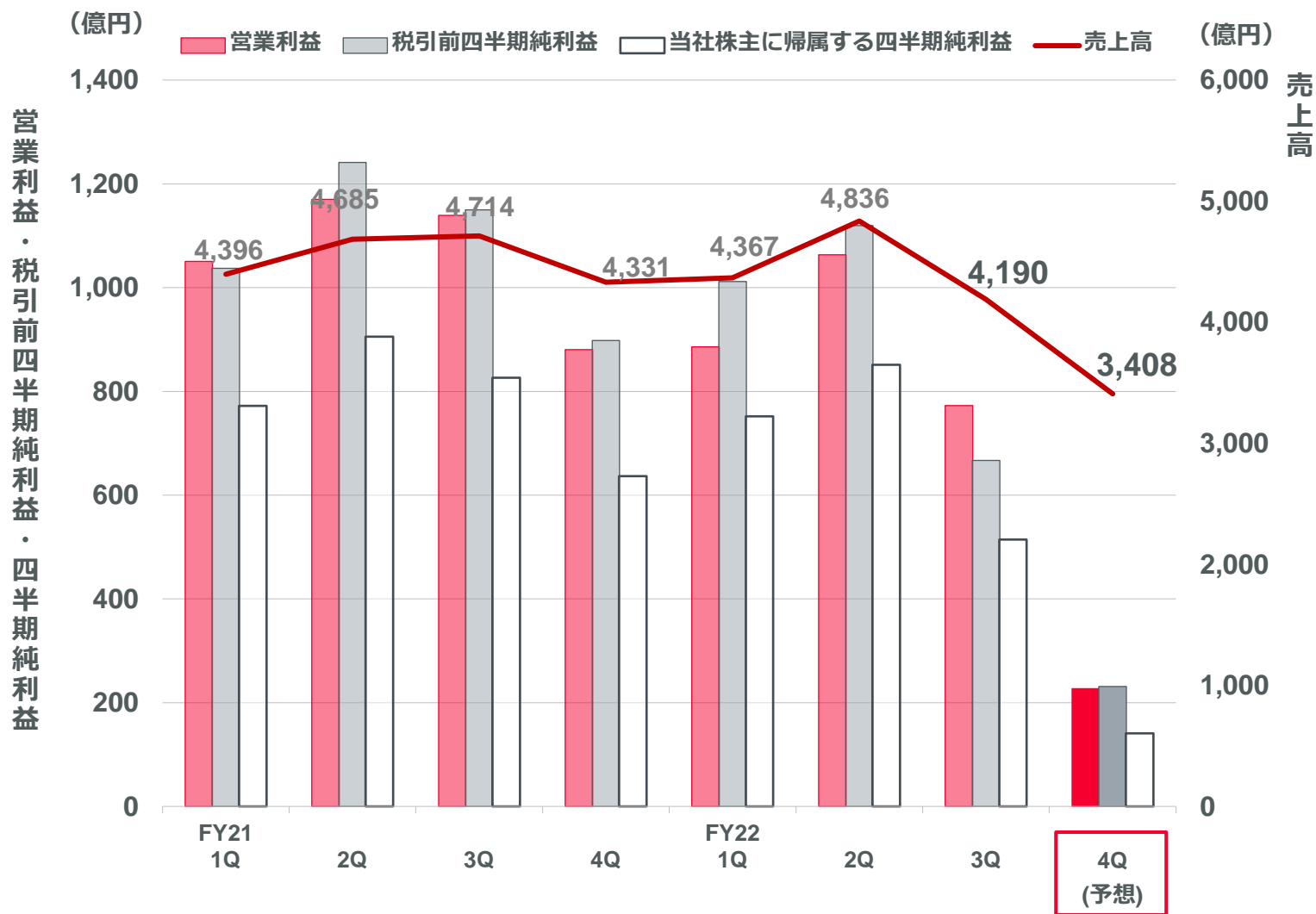
	2022年度 上期実績	2022年度 下期予想	2022年度 通期予想
減価償却費	798 億円	802 億円	1,600 億円
研究開発費	622 億円	568 億円	1,190 億円
設備投資額	837 億円	1,163 億円	2,000 億円
為替レート(USD)	133.98 円/USD	134.32 円/USD	134.15 円/USD

【対ドル為替感応度(1円変動/年)】

売上 2022年度：約100億円

営業利益 2022年度：約50億円

業績推移（四半期）



配当

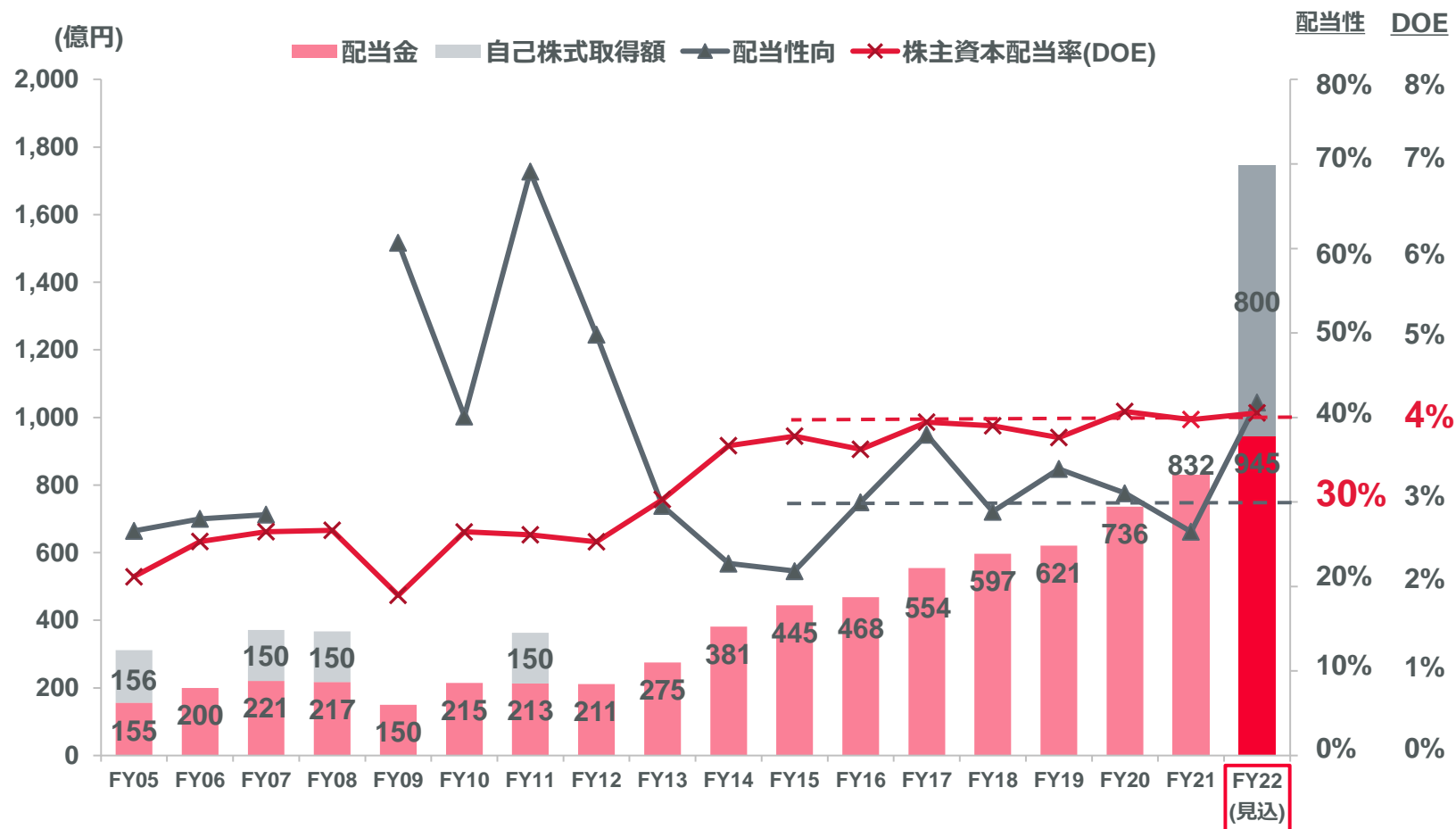
- 2022年度（2023年3月期）の配当（予定）
1株当たり年間150円
（中間配当75円／期末配当75円）
※年間配当を前年度比20円増配

- 2021年度（2022年3月期）の配当
1株当たり年間130円
（中間配当60円／期末配当70円）

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

株主還元推移

- 配当 配当の安定的な増加を基本方針としており、中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- 自己株式取得 株主還元の手段として、資本効率の改善を目的に適時実施



当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります。これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you



補足



財務データ(1/3)

(億円)

	2019年度		2020年度				2021年度				2022年度		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396	4,685	4,714	4,331	4,367	4,836	4,190
営業利益	795	524	513	802	1,084	733	1,051	1,170	1,139	880	886	1,064	773
税引前四半期純利益	780	513	539	792	1,063	769	1,037	1,241	1,150	898	1,012	1,120	667
当社株主に帰属する 四半期純利益	561	362	396	603	765	607	772	906	826	637	752	852	515
設備投資	814	854	402	438	489	639	426	321	334	447	386	451	542
減価償却費	357	364	340	359	357	375	373	387	396	400	398	401	402
研究開発費	247	264	248	262	244	263	270	272	282	289	307	315	303
対ドルレート(円)	108.76	108.97	107.62	106.22	104.51	105.90	109.49	110.11	113.71	116.21	129.57	138.38	141.64

財務データ(2/3)

(億円)

	2021年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
事業別セグメント売上高	コンデンサ	1,900	2,034	2,014	1,938	2,021	1,944	1,827
	インダクタ・EMIフィルタ	493	519	511	435	469	483	434
	コンポーネント 計	2,393	2,552	2,525	2,373	2,490	2,427	2,261
	高周波・通信	1,283	1,374	1,402	1,224	1,084	1,476	1,144
	エナジー・パワー	426	453	488	437	513	650	539
	機能デバイス	267	277	263	256	248	249	221
	デバイス・モジュール 計	1,976	2,103	2,153	1,918	1,845	2,375	1,904
	その他	26	30	36	40	31	33	25
	売上高計	4,396	4,685	4,714	4,331	4,367	4,836	4,190
	用途別売上高	通信	1,857	2,071	2,104	1,761	1,692	2,050
モビリティ		827	821	803	912	919	943	1,063
コンピュータ		746	770	751	707	682	652	507
家電		442	483	471	437	513	619	456
産業・その他		524	541	586	513	561	570	538
売上高計		4,396	4,685	4,714	4,331	4,367	4,836	4,190

財務データ(3/3)

(億円)

		2021年度				2022年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
コンポーネント	売上高	2,422	2,585	2,559	2,415	2,520	2,452	2,286
	営業利益	863	943	936	813	868	810	669
デバイス・モジュール	売上高	1,976	2,103	2,153	1,918	1,845	2,375	1,904
	営業利益	189	236	208	64	16	261	114
その他	売上高	175	178	175	184	202	165	181
	営業利益	▲1	▲9	▲5	3	2	▲7	▲10
消去	売上高	▲177	▲182	▲173	▲186	▲200	▲157	▲181
連結	売上高	4,396	4,685	4,714	4,331	4,367	4,836	4,190
	営業利益	1,051	1,170	1,139	880	886	1,064	773

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS